

ビジネス科学研究科
企業科学専攻システムズ・マネジメントコース
学位論文（博士）審査基準

（審査体制）

学位論文の審査は、主査1名および副査4名以上の論文審査委員会の合議で行う。副査には、本研究科の専任教員以外の者を1名以上含まなければならない。

（評価項目）

1. 研究課題の意義

論文の問題設定が、当該分野の学問的蓄積を踏まえて明確に示され、学術的あるいは社会的、または実務的な意義を有すると認められること。

2. 内外の先行研究の包括的な理解と把握

研究課題の解決に際して、関連する分野を含む資料や文献が網羅され、それらの精確な読解（理解）や的確な評価が行われていること。また、論旨を展開する上で適切に言及されていること。

3. 研究方法の厳密な提示とその妥当性

研究課題の解決のために援用あるいは提案された、理論、調査、インタビューあるいは資料収集、データ分析、実験・シミュレーションなどの研究方法が、研究倫理を遵守した上で、適切かつ効果的に用いられていること。

4. 論証方法や結論の妥当性と意義

課題設定から結論にいたる論旨が適切に構成され、明確で、実証的かつ論理的に緻密さを伴って展開されていること。また、導き出された論旨や結論が、当該分野において、高度な専門性に基づく、新規性、独自性をもった新たな学術的貢献や、高い有用性のある示唆に富む社会貢献・社会還元となっていること。

5. 論文の形式・体裁

語句の使い方や文章表現は的確であること。学位論文としての体裁は整っていること。文献等は正しく引用され、図表の引用元は明らかにされていること。

（評価基準）

上記評価項目すべてを満たす学位申請論文を、最終試験又は学力の確認を経た上で、博士論文として合格とする。

ビジネス科学研究科
企業科学専攻企業法コース
学位論文（博士）審査基準

（審査体制）

学位論文の審査は、主査1名および副査4名以上の審査委員の合議で行う。副査には、本研究科の専任教員以外の者を1名以上含まなければならない。

（評価項目）

1. テーマについて、少なくとも1つの主要な国との比較法的手法を用いた研究、または、実証研究・実態調査・歴史研究・経済学的手法を用いた研究が行われていること。
2. 文献・資料を組織的に収集・調査し、批判的に分析されていること。
3. テーマに関連する専門的知識を有していること。
4. テーマについて、高いオリジナリティを有していること。

（評価基準）

上記の評価項目すべてを満たす学位申請論文を、最終試験又は学力の確認を経た上で、博士論文として合格とする。